

## 1. はじめに

朝日遺跡の発掘調査において出土した動物遺体の同定結果を報告する。

## 2. 試料と方法

試料は、朝日遺跡から出土した貝類1点および鳥類1点である。肉眼で試料を観察し、標本との比較により分類群を同定した。

## 3. 結果

同定結果を表1に示した。貝類はシジミ属の左殻である。鳥類は骨端部が欠損しているため種の同定に至らなかったが、部位は右手根中手骨である。

朝日遺跡の過去の発掘調査においては、弥生時代中期の貝層から、ハマグリ、ヤマトシジミを中心とした貝類や、コイなどの淡水魚を中心とした魚類、カモ科などの鳥類、イノシシ、イヌ、ニホンジカなどの哺乳類が出土している(永井ほか, 2009)。今回同定されたシジミ属や鳥類の出土は、過去の調査と比較して齟齬のない結果であった。

表1 朝日遺跡出土動物遺体一覧

No.	グリッド(遺構)	分類群	部位	左右	部分・状態	数量	備考
1	18SK	シジミ属	殻	左	ほぼ完存	1	放射性炭素年代測定
2	12SK	鳥綱	手根中手骨	右	骨幹部	1	

## 引用文献

永井宏幸・堀木真美子・赤塚次郎・早野浩二・石黒立人・川添和暁・樋上 昇・鬼頭 剛・樋泉岳二・中村賢太郎・孔智賢・奥野絵美・森 勇一・藤尾慎一郎・尾寄大真(2009) 愛知県埋蔵文化財センター調査報告書 154: 朝日遺跡Ⅷ 本文編. 315p, 財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団・愛知県埋蔵文化財センター.



図版1 朝日遺跡出土の動物遺体（左：シジミ属左殻 右：鳥綱右手根中手骨）